

2024年版ものづくり白書から読み解く  
**製造現場DX成功の鍵**  
～すぐに使えるチェックリスト付き～

## 製造現場はDXが進んでいない

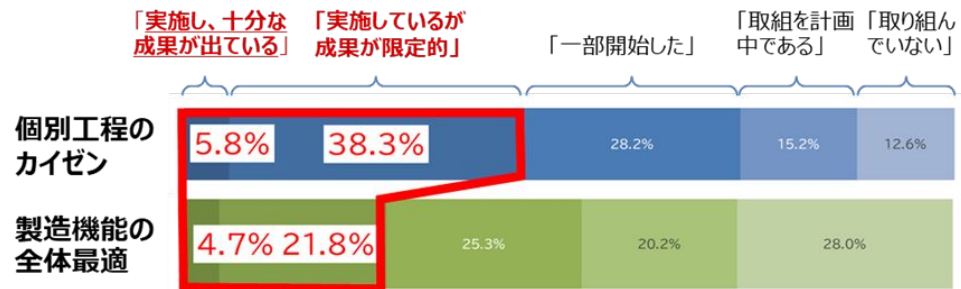


図: デジタル化の取組領域別推進状況（経済産業省「製造業を巡る現状と課題 今後の政策の方向性」より）

個別工程のカイゼン 実施済の企業は **44.1%**

製造機能の全体最適 実施済の企業は **26.5%**

製造現場はDXが進んでいない

製造現場は他部門に比べDXが容易ではないが、紙によるアナログ管理や勘・コツ・経験に頼った属人的業務では付加価値の向上は見込めず、競争力低下や売上減少に繋がりがかねない

## 課題1: 目的が限定的

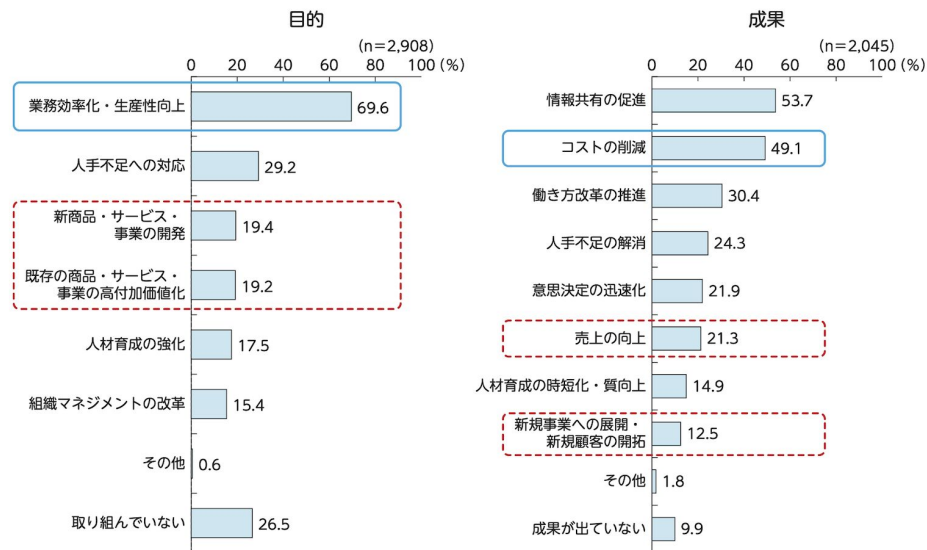


図: DXの取組目的及び成果（経済産業省「2024年版ものづくり白書」より）

業務効率化など製造現場DXの **目的が限定的** なものととどまっている企業が多い  
売上向上や新規事業展開といった中長期的な成長を見据えた **「稼ぐ力の強化」の推進** が重要

## 課題2: 部分最適になっている

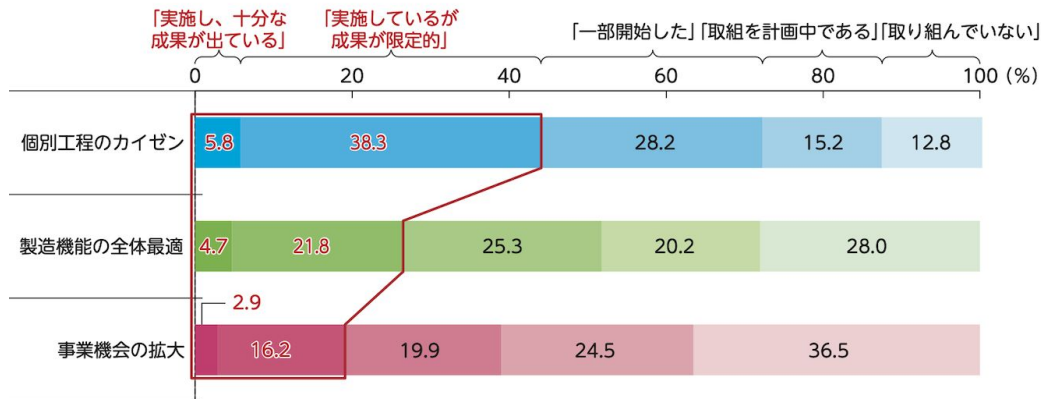


図: DXの取組領域別推進状況（経済産業省「2024年版ものづくり白書」より）

DXの実施範囲が個別工程の最適化にとどまっており、**会社全体の最適化に至っていない**  
製造現場に眠っている多種多量のデータを全社的に活用させる取り組みが求められる

### 課題3: DX人材の不足

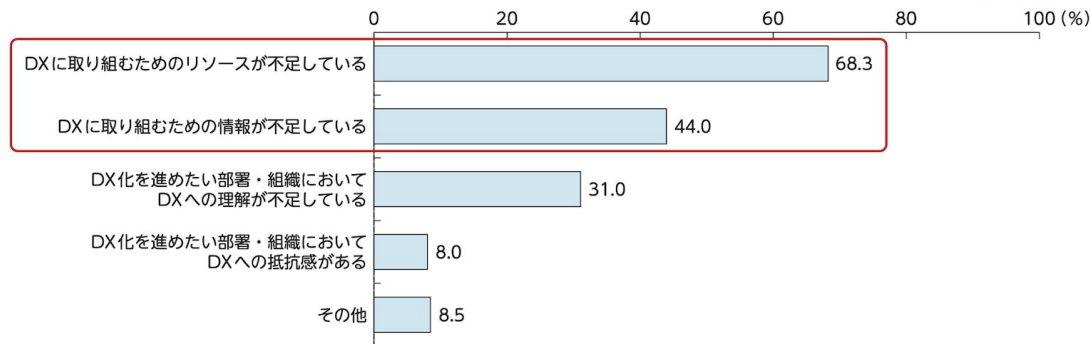


図: DXに取り組んでいない又は成果が出ていない理由（経済産業省「2024年版ものづくり白書」より）

DX人材の不足を課題としている企業が68.3%と多い一方で、DX人材の採用難易度は非常に高い  
自社内での **DX人材の育成** が喫緊の課題といえる

## 課題4: 製造ソリューションの活用が進んでいない

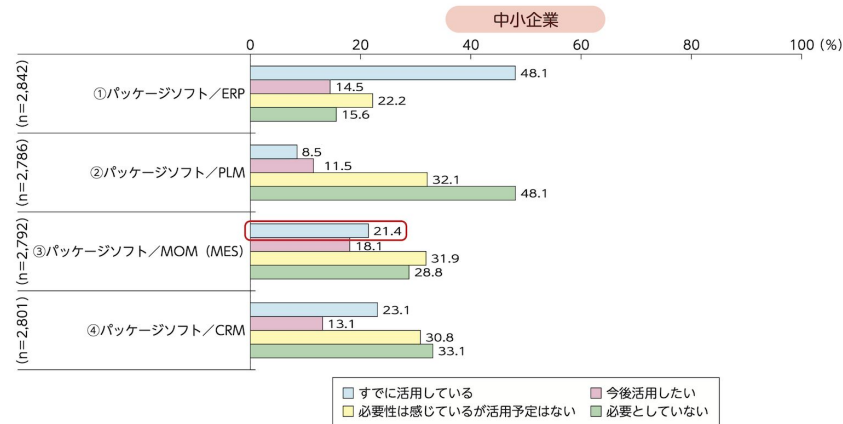
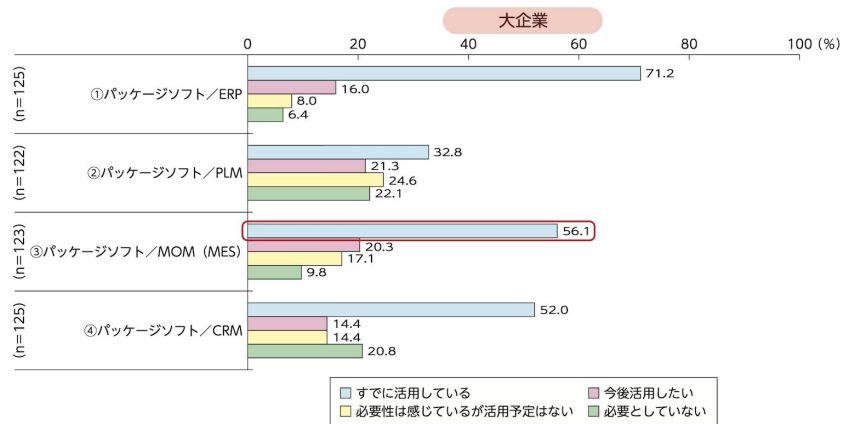


図: 製造ソリューションの活用状況（経済産業省「2024年版ものづくり白書」より）

大企業でのMES活用率が56.1%と比較的高い一方で、**中小企業でのMES活用率は21.4%と低い**

大企業でのMES活用が高いのは「稼ぐ力の強化」に直結しているためと考えられ、中小企業でも**MESの活用が重要**

# 製造現場DXに向けたチェックリスト

## チェックポイント

①DXの目的・ゴールは明確か？

②個別カイゼンになっていないか？

③DX人材の育成計画はあるか？

④MESの活用計画はあるか？

## 具体例

- 売上向上や新規事業展開といった「稼ぐ力の強化」が示されている
- ②-④についても検討がなされている
- DXの取り組みが製造現場全体や他部署も含めたものになっている
- 関係者とコミュニケーションを取り、合意ができています
- 外部研修などDX人材育成のアクションが示されている
- 従業員が魅力的と感じ、DX人材への応募がある
- 製造現場のデジタル化すべき箇所が決まっている
- ツールの情報収集・検討をしている

# Smart Craft のご紹介

DXコンサルティング

MES導入

運用支援

Smart Craftは、国産初のSaaS型MES（Manufacturing Execution System）であり、工場内の一連の業務プロセスをタブレットやスマートフォンなどのモバイル端末を活用しデジタル化できるクラウドサービスです。

これまで紙やExcel等で行ってきた製造現場のアナログ業務をペーパーレス・デジタル化することで現場状況をリアルタイムで見える化し、製造データの一元集約と生産性向上を実現します。近年重要視されているトレーサビリティのデジタル化も可能です。

また、MES導入だけでなく、製造現場DXのグランドデザイン策定や、DX人材育成プラン策定などの伴走支援も可能ですので、お気軽にご相談ください。

## 株式会社Smart Craft

所在地 〒151-0061 東京都渋谷区初台1-51-1 初台センタービル 312

電話番号 03-3527-2464

Email [contact@smartcraft.co.jp](mailto:contact@smartcraft.co.jp)

Web <https://smartcraft.jp/>

サービスサイト



### コラム

「誰にでも使いやすい」MESソリューションで製造現場のDXを推進するスタートアップ

所在地	東京都
従業員数	10名
資本金	8,109万円
業種	機械サービス業

(株) Smart Craft

ものづくり現場向けの製造実行システムによるソリューションを提供

(株) Smart Craftは、製造現場向けのDXソリューションを通じて、工場のスマート化をワンストップで支援するスタートアップ企業である。2021年の設立以来、工程管理業務のデジタル化を中心に、製造実行システム（MES）を提供している。製造業では人手不足が加速し、生産性の向上が急務となる中、代表取締役の浮部氏が新設で入社した（株）キーエンス時代にものづくり現場で感じた非効率な業務をテクノロジーによって解決したいとの思いで創業した。

「誰にでも使いやすい」ソリューション開発への挑戦

同社は、従来のオンプレミス型のパッケージシステムインテグレーションが必要であったMESを、SaaS型のクラウドサービスとしてローコストで提供している。また、タブレットやスマートフォンなどのモバイル端末にも対応した直感的に使いやすい操作性やデザイン、使いやすいユーザーインターフェース（UI）が高い評価を受けており、ユーザーによる柔軟な設定やカスタマイズもノーコード対応で実現可能である。また、利用ユーザーの要望に基づく機能のアップデートを毎月実施するなど、「誰にでも使いやすい」ソリューションに向けたネットワークの醸成と実行力も強みである。

現在は、電子機器、電子部品、自動車部品、産業機械等の加工・組立型の中堅製造業を主要顧客とし、導入実績を増やしている。例えば、川崎重工業（株）とシスメックス（株）の共同出資会社である（株）メテカロイドに導入した事例では、品質管理業務が難しい医療用手術支援ロボット生産工程で年10%相当の工数を削減させるとともに、作業進捗をリアルタイムで見える化することで、納期管理の安定化を実現している。

製造現場のDXに必要なあらゆるインフラの提供を目指す

現在、工程管理・品質管理機能の提供が主であるが、今後はMESや製造オペレーション管理（MOM）の主要機能を拡充するなど、スマート工場実現に必要な不可欠な業務管理基盤の開発・提供を予定している。また、AIを活用した生産の高度効率化や、ロボットや無人搬送車等のハードウェアとの連携を通じて、製造現場のDXに必要なあらゆるインフラの提供を目指している。

図1 同社のソリューションのイメージ



図2 代表取締役の浮部氏



出所：(株) Smart Craft (図1)、写真：(株) Smart Craft 提供 (図2)

2024年版ものづくり白書に掲載